

藤波こども園

園長だより

No. 55

令和2年1月22日
文責 竹原 篤



旧 藤波幼稚園 現 藤波こども園



あけましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様には健やかに令和二年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は藤波こども園の諸活動に多大なるご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございました。感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



こども園に着任してから、幼児期の子育ては本当に難しいなと感じています。私の経験からですが、子どもに関わる時に「親や教師・大人の基準で判断しないこと。また、大人の基準を押し付けないこと。」がとても大切だと思います。私たち大人がよく言うことで「机の上、片付けなさい。」と。「もう片付けたよ。」と子ども。「片付いてないやん。」「え～片付いてるやん。」大人と子どもの「片付け」の基準が違うのです。大人は「机の上に何も無い」のを「片付いている」と考えています。子どもは「一見片付いていないように見えるかもしれませんが、どこに何があるかわかるように置いている」状態を「片付けている」と考えています。お互いに片付けについての考え方や基準が違うのです。自分の基準を相手に押し付けようとすることに問題があるのだと思います。保護者の皆さんもこれと同じようなことをされたことはないでしょうか。自分の基準を子どもに押し付けていませんか。それでは子どもと対立してしまいます。小学校に勤めていた時に自分が子どもだった頃のことをすっかり忘れてしまっている保護者の方がたくさんおられました。「何でこんなこともできひんの」と子どもが叱られていましたが、私たちが子どもの頃、本当にできていたのでしょうか。今の子どもと同じようなことをしていたのではありませんか。もちろん保護者になったら、親としての願いがありますから、どうしても口うるさくなくなってしまうのは仕方のないことだと思います。でも、「子どもって何でもちゃんとできるとは、思わない方がお互いに楽だということ」を知っておいていただきたいと思います。「これはお父さん・お母さんの思っていることだけど、このようにしたらいいと思うし、そうしてくれたらお父さん・お母さん、とっても嬉しいんだけど・・・。」と言ってみたらどうでしょうか。とにかく、私も含め大人は子どもを下に見ないで、同じ人間として対等の立場で関わっていかれたらと思います。



楽しかったお餅つきの様子

前日に月組さんが涸田さんから頂いた餅米を洗ってくれました。当日はぞうホームからきりんホーム、最後にぱんだホームが餅つき体験をしました。子どもたちの思いからメニューが決まり「きなこもち・おろしもち・あんこもち・しょうゆもち」を楽しそうに食べていました。子どもたちは「きなこもちが美味しいわ！しょうゆもちが美味しいわ！」と多い子どもは6個・7個と食べていました。やっぱり自分たちで作ったお餅は特別美味しいのですね。多くの皆様にお世話になり楽しいお餅つきでした。



🌸ありがとうございます🌸

【いただきました】

餅米 評議員 涸田常博様



さくらんぼ広場



退職された調理員さんと新しくおみえになった調理員さんの紹介

渡辺素江さんは美味しい給食を8ヶ月間作っていただきましたが、お家の都合で12月末に退職されました。ありがとうございました。

1月から、西川由香里さんが調理員として来てくださり、美味しい給食を作ってくださっています。